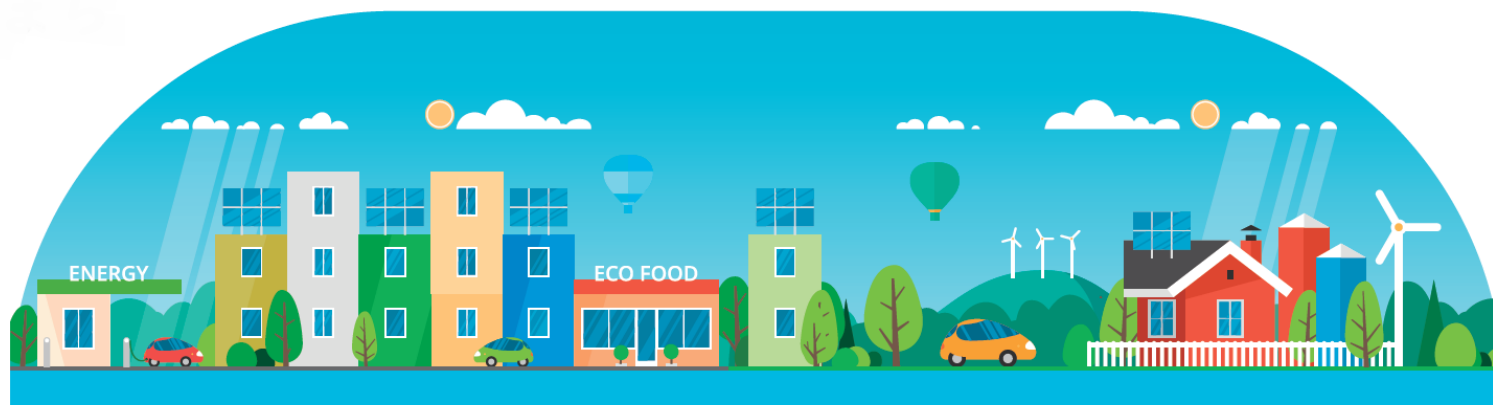




SDGsに関する長野県の取り組み



長野県 副知事 中島 恵理

しあわせ信州創造プラン2.0 の基本目標

確かな暮らしが営まれる美しい信州

～学びと自治の力で拓く新時代～

「確かな暮らし」とは

誰もが、明日への希望を持って日々の生活を送ることができ、万一の場合には温かな支援を受けることができるという安心があること

➡ 「誰一人取り残さない」というSDGsの基本理念

「美しい」とは

- ・先人によって守り育てられてきた豊かな自然や農山村の原風景
- ・地域に息づく郷土への誇りや絆を大切にすること
- ・子どもから大人まで未来に向かってひた向きに努力している姿

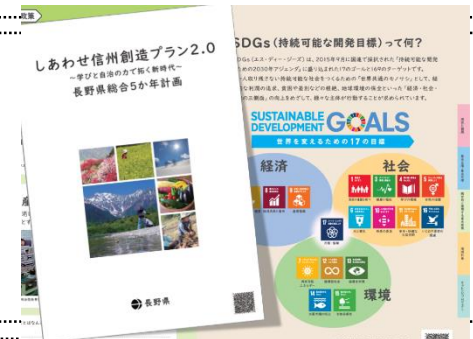
➡ 持続可能な地域・社会

「学びと自治の力」とは

与えられるだけの受動的な教育ではなく、自らを高めるために主体的に学び、これを社会や組織の中で共有し、各人が協働して地域の課題を解決していこうとする力

➡ **ゴール17**  **の基盤となる力**

経済・社会・環境の三側面の統合的解決へのエンジン



長野県の「SDG s 未来都市」プロジェクト



長野県「SDG s 未来都市」プロジェクト

学びと自治の力による「自立・分散型社会の形成」

持続可能な地域づくり（地域循環共生圏の概念を反映）

誰もが学べる環境づくり

- 信州こどもカフェの普及拡大
- 信州・タウンキャンパス構想の実現



地域内経済循環の促進

- エシカル消費の促進
→「地消地産」の拡大
- 再生可能エネルギー100%地域の実現

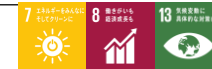


快適な健康長寿のまち・むらづくり

- 自家用車に頼らない地域づくり
- 省エネ建築による断熱性能向上促進



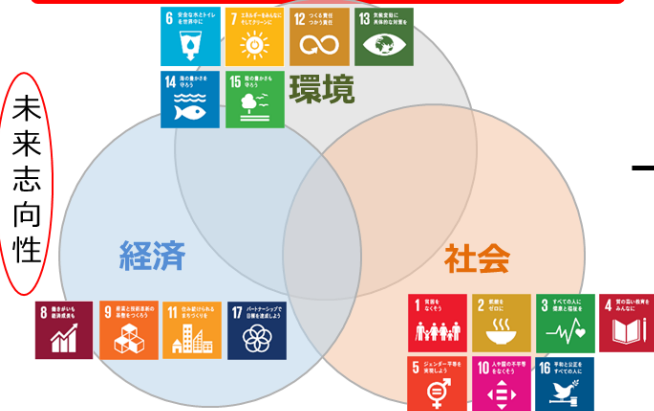
豊富な自然エネルギー資源を活かしたエネルギー自立・分散型モデル地域の形成



地域SDG s コンソーシアムの取組

長野県SDGs推進企業登録制度(仮称)

【要件1】 3側面のターゲットへのコミット



未来志向性

【要件2】 SDGsの観点で社会・市場から求められる基本的な事項

【市場から求められる基本的な事項(例)】

- ① 人権・労働
 - ・差別の禁止
 - ・女性が活躍できる環境整備 等
- ② 環境
 - ・廃棄物の削減、IT利用-効率化 等
- ③ 公正な事業環境
 - ・公正な競争、個人情報適正管理 等
- ④ 社会貢献・地域貢献
 - ・地域への影響配慮、社会貢献活動 等

トレードオフではなく
統合的管理を意識

実績

中小企業のSDGs認知度は16%程度（関東経産局調べ）

H30.12月

- 地域企業・中小企業でのSDGsの普及や、SDGs達成を通じた稼ぐ力の向上に向けて、関東経済産業局との協働により、多様なステークホルダーが参画するコンソーシアムを形成
- **長野県SDGs推進企業登録制度（仮称）**を創設し、SDGs経営に取り組む地域企業をプレイアアップ（H31～予定）

NAGANO×KANTO地域SDGsコンソーシアム



県内のステークホルダー

長野県、公立大学法人長野県立大学、
県経営者協会、県中小企業団体中央会、県商工会議所連合会、県商工会連合会、
(株)八十二銀行、(株)長野銀行、長野県信用組合、県信用金庫協会、ジェトロ長野



関東経済産業局

有識者

慶應義塾大学大学院 蟹江憲史教授

域外企業・関係団体

(株)クレアン
※オブザーバ 三井住友海上火災保険(株)、
セイコーエプソン(株)、地球環境戦略研究機関(IGES)

SDGsを活用した地域企業のビジネス創出や価値向上に効果的な手法を検討

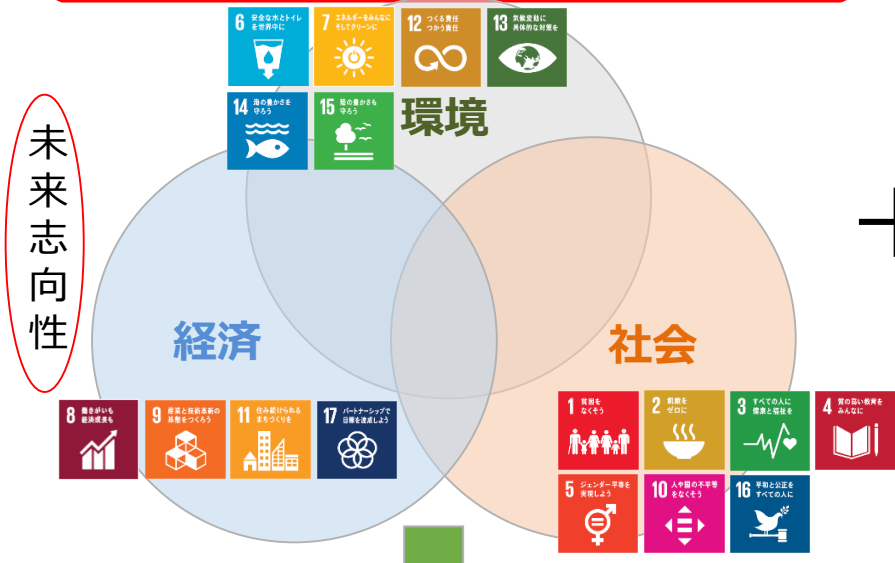
長野県SDGs推進企業登録制度（仮称）骨子案（イメージ図）



- 【制度目的】
- SDGsの理念を踏まえ、持続可能な経営の在り方・方針等について検討・コミットするきっかけづくりを推進
 - SDGs・ESGの潮流を受け、本制度の活用を通じて、中小企業に非財務情報（人権・労働、環境等）の重要性の気付きを促し、企業価値向上に向けた後押しを行う。

長野県SDGs推進企業登録制度（仮称）

【要件1】 3側面のターゲットへのコミット



【要件2】 SDGsの観点で社会・市場から求められる基本的な事項

【市場から求められる基本的な事項（例）】

- ① 人権・労働**
 - ・差別の禁止
 - ・女性が活躍できる環境整備 等
- ② 環境**
 - ・廃棄物の削減、IT・エネルギー効率化 等
- ③ 公正な事業環境**
 - ・公正な競争、個人情報適正管理 等
- ④ 社会貢献・地域貢献**
 - ・地域への影響配慮、社会貢献活動 等

トレドオフではなく
統合的管理を意識

実績

【要件1の内容】

- SDGsの『環境』『経済』『社会』の三側面それぞれのターゲットについて、以下の3点を宣言することを要件とする。
 - ① 達成に向けた取組をコミット
 - ② 2030年に向けた指標を設定
 - ③ 指標に対する進捗測定をコミット

【要件2の内容】

- SDGsの観点で市場から求められる基本的な事項等を示したチェックシートにより自社の取組をチェックし、県に提出。
 - ※ チェックシートへの記載により、会社の経営に対する振り返りや気付きにつながる。



入口支援

- ① セミナー等
・SDGsについての理解、活用ノウハウ取得
- ② 関連施策等の情報提供
- ③ 伴走型支援
・専門家を派遣して伴走型のサポート
・SDGsを経営計画へビルドイン
・PDCAのフォロー

長野県SDGs推進 企業登録制度（仮称）



出口支援

- ① マッチング・交流会・勉強会等（ネットワーク形成）
 - ② PRサポート、関連施策等の情報提供
 - ③ 取組等の達成に向けた支援（モデル事業）
- **企業価値の向上
販路開拓
社内の人材確保・育成へ**

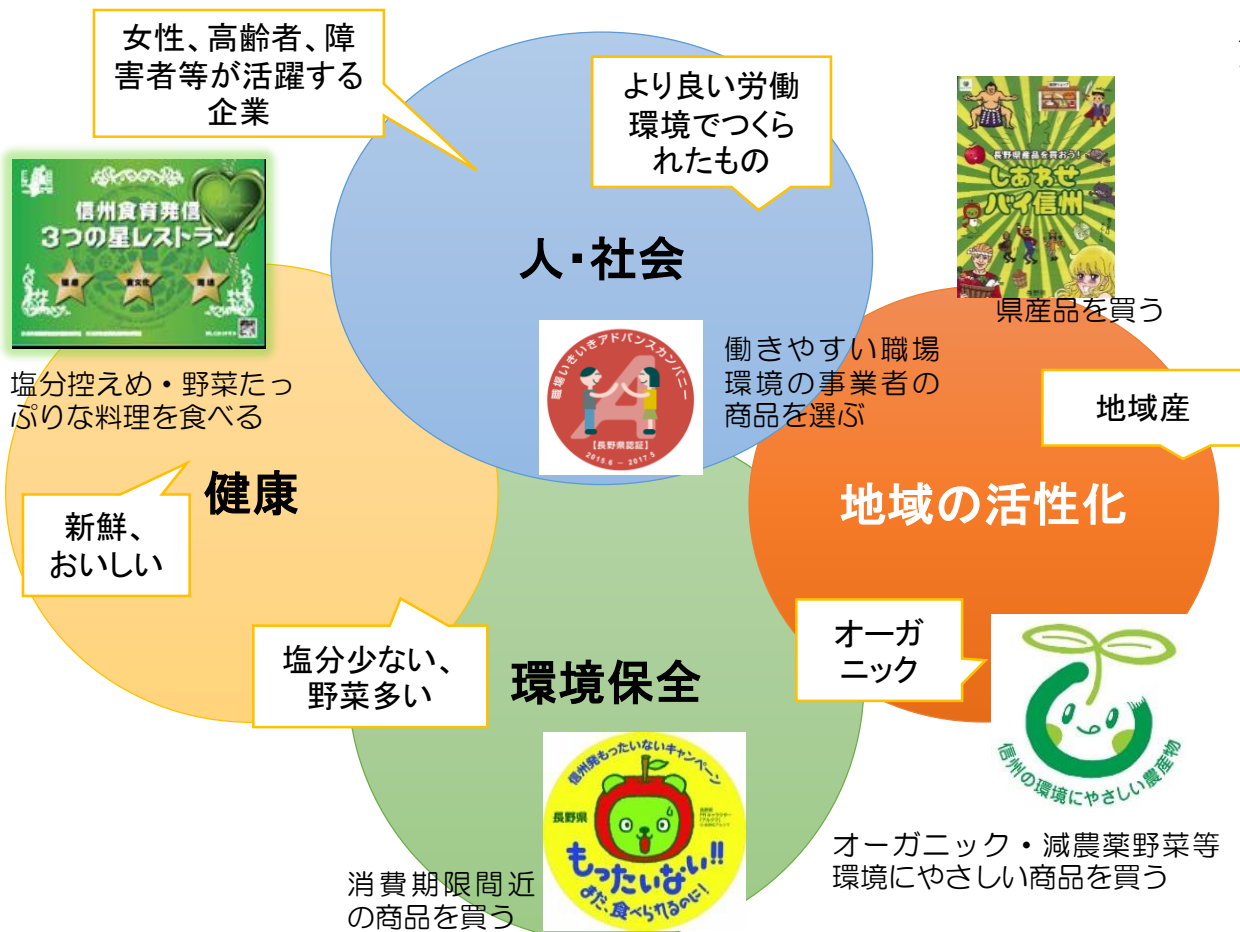
既存リソースも活用しながら総合的にサポート

【産学官金の地域ステークホルダー等】

自治体、地域金融機関、経済団体、大学、研究機関、支援機関、県内外大手企業、海外展開支援機関 等
▶ トランスレーターとして「社会課題を整理し企業に結びつける」、
「企業の既存の取組とSDGsとの関係性の気付きの提供する機能」等を期待

長野県版エシカル消費の促進

- ◆ 「人」「社会」「地域」「環境」に配慮した消費行動を促し、持続可能な社会の実現、地域活性化等の社会的課題の解決につなげる
- ◆ 長寿県であることから「健康」にも配慮する「長野県版エシカル消費」を推進
- ◆ エシカルプロダクツを実践する事業者の可視化（長野県立大と連携したMAPづくり）



消費者大学の開設

消費生活相談員の養成

消費者教育における
中核的人材の育成
消費生活サポーターの
スキルアップ

消費者大学
エシカル消費のリーダーの育成

幅広い基礎知識の習得
消費生活サポーターへ登録促進

長野県における脱炭素社会づくり



脱炭素社会づくりとSDGs

環境エネルギー戦略(2013-2020)
温室効果ガス排出量削減 2030年:1990年比-30%

低炭素杯2016 ベスト長期目標賞

自治体再生可能エネルギー国際会議(2017)
長野宣言:100%再生可能エネルギー地域の実現

2019年6月 G20持続可能な成長のためのエネルギー転換と
地球環境に関する関係閣僚会合(軽井沢町)

パリ協定を踏まえた脱炭素社会づくりに向けた新戦略の検討開始

長野県と大都市をつなぐ電力販売

- ◆ H29.4に完成した2つの水力発電所の電力を41の世田谷区立保育園など大都市の需要家に販売
- ◆ 売電を契機に、区内での県産品販売や保育園での野沢菜栽培・おやき作り等、モノや文化の交流が促進
- ◆ 今後、保育園の園児・家族の方々が長野県の応援団となり、電気を通じた交流が一層深まることを期待
- ◆ 引き続き、新たな水力発電の計画に着手（早期に4地点/最大出力約2000kWの発電に着手）

<電力販売のスキーム>

長野県企業局



高遠さくら発電所（伊那市）
（出力180kW 約350世帯分を発電）



水芭蕉発電所（長野市）
（出力980kW 約1,400世帯分を発電）

電力販売

買取料金

丸紅新電力株式会社



連携

みんな電力株式会社
（東京都世田谷区）

ソーシャル・エネルギー・カンパニー

みんな電力

信州産電力
として販売

買取料金

世田谷区立保育園



大阪の民間企業
（山陽製紙株式会社）



名古屋の民間企業
（アプロホールディングス株式会社）

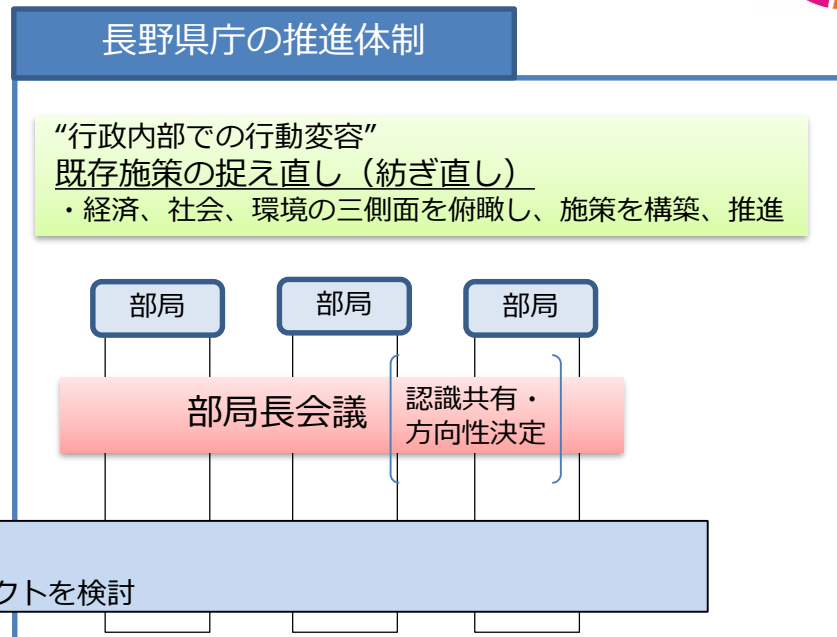
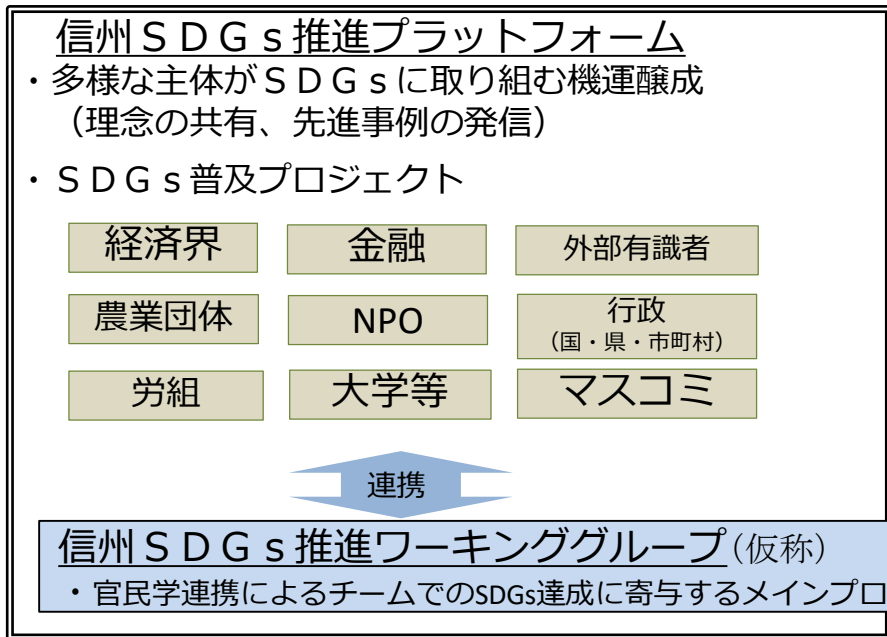


電力販売の利益の一部

こどもの教育支援など
県政発展に活用

発電所や立地地域の見学ツアー、物産展への出展など

「信州SDGs」推進体制（イメージ）



地域でのSDGsの認知の段階

実践段階（“点”の取組を“線”“面”に）



H30

H31～

SDGsによる県政推進スタート

SDGs未来都市選定
プラン2.0に位置づけ

緊急性の高い産業界の巻き込み
(ビジネスチャンス、経営上のリスク)

地域SDGsコンソーシアム

進展

SDGsの普及によるステークホルダーの
連携（パートナーシップ）強化

信州SDGs推進プラットフォーム
SDGs普及プロジェクト

SDGsに絡めた新ビジネスの創出
企業価値向上による人材・投資の呼び込み

SDGs推進企業の登録、販路開拓の支援

進展

“めざす姿”（SDGsに取り組む意義）

自律的な地域課題解決促進

(地域活動・団体活動への参加拡大、
既存活動の活性化)

地域・経済の活性化、
暮らしの質の向上

学びと自治の力の発揮